



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成31年2月14日

上場会社名 株式会社宇野澤組鐵工所 上場取引所 東  
 コード番号 6396 URL http://www.unozawa.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勉  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田村 博 (TEL) 03-3759-4191  
 兼経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績 (平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	3,699	△4.2	233	△24.2	245	△21.2	156	△23.9
30年3月期第3四半期	3,863	1.2	308	536	311	559	205	432
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
31年3月期第3四半期	141.28		—					
30年3月期第3四半期	185.63		—					

※平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	7,526	1,960	26.1
30年3月期	7,575	1,918	25.3

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 1,960百万円 30年3月期 1,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
31年3月期	—	0.00	—		
31年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	1.3	450	6.8	460	9.3	300	10.1	271.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

31年3月期3Q	1,120,000株	30年3月期	1,120,000株
31年3月期3Q	15,286株	30年3月期	15,286株
31年3月期3Q	1,104,714株	30年3月期3Q	1,104,869株

※平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては発表日現在の将来に関する見通し・計画に基づく予測が含まれており、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は添付資料2ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や国内設備投資は堅調に推移し、家計部門においても人手不足を背景とした雇用・所得環境の改善が続き個人消費も持ち直しを継続しており緩やかな回復基調で推移しました。しかし、海外情勢における米中貿易摩擦の長期化や消費税増税を控え、先行きへの不透明感は強まっております。

このような経営環境のもと、当社の業績は売上高3,699百万円(前年同四半期比4.2%減)となりました。損益面におきましては、営業利益233百万円(前年同四半期比24.2%減)、経常利益245百万円(前年同四半期比21.2%減)、四半期純利益156百万円(前年同四半期比23.9%減)となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

#### ① 製造事業

送風機・圧縮機においては売上を若干伸ばしたものの、前年好調だった部品・修理の反落を補うまでには至らず、売上高は3,224百万円(前年同四半期比5.3%減)となり、損益面におきましては、セグメント損失129百万円(前年同四半期はセグメント損失43百万円)となりました。

売上高を製品別に示しますと、真空ポンプは1,957百万円(前年同四半期比1.3%減)、送風機・圧縮機は435百万円(前年同四半期比1.1%増)、部品は514百万円(前年同四半期比22.4%減)、修理は315百万円(前年同四半期比1.9%減)の結果となりました。

また、輸出関係におきましては、売上高は326百万円(前年同四半期比36.4%減)となりました。

#### ② 不動産事業

オフィス市況の改善による増収効果により、売上高474百万円(前年同四半期比3.4%増)、セグメント利益363百万円(前年同四半期比3.2%増)の計上となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間の財政状態は、前事業年度末と比べ、総資産は49百万円減少し7,526百万円、負債は91百万円減少し5,565百万円、純資産は42百万円増加し1,960百万円となりました。

総資産の減少は、たな卸資産が381百万円増加したものの、現金及び預金が386百万円、投資有価証券が116百万円減少したこと等が主な要因です。

負債の減少は、電子記録債務が508百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が255百万円、未払法人税等が132百万円、長期借入金が224百万円減少したこと等が主な要因です。

純資産の増加は、その他有価証券評価差額金が80百万円減少したものの、利益剰余金が122百万円増加したことが主な要因です。

この結果、自己資本比率は26.1%(前事業年度末は25.3%)となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は現在の事業環境下、入手可能な情報に基づき最善の経営方針を立案するよう努めておりますが、景気の先行きは不透明であり、当社を取り巻く事業環境は厳しい状況が続くものと予想されます。このような状況下、受注の確保・原価低減及び諸経費の削減に重点を置いた諸施策を実施するとともに、業務の質を高め、諸施策を迅速かつ確実に遂行し、環境変化に強い利益体質を確立するよう努めてまいります。

なお、平成30年10月25日発表の通期業績予想に変更はありません。業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,019,087	1,632,143
受取手形及び売掛金	1,784,421	1,776,559
電子記録債権	287,303	324,084
たな卸資産	714,962	1,096,960
その他	24,220	68,424
貸倒引当金	△3,010	△2,257
流動資産合計	4,826,984	4,895,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,380,088	1,334,538
土地	631,643	631,643
その他(純額)	126,326	185,306
有形固定資産合計	2,138,059	2,151,488
無形固定資産		
	109,346	95,630
投資その他の資産		
投資有価証券	423,910	307,843
その他	77,647	75,952
投資その他の資産合計	501,557	383,795
固定資産合計	2,748,963	2,630,913
資産合計	7,575,947	7,526,828
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	959,377	703,719
電子記録債務	208,231	716,928
短期借入金	1,012,945	1,012,912
未払法人税等	132,846	-
賞与引当金	80,773	25,329
その他	337,677	329,798
流動負債合計	2,731,851	2,788,687
固定負債		
長期借入金	1,764,026	1,539,865
繰延税金負債	49,069	47,732
退職給付引当金	519,584	531,072
役員退職慰労引当金	140,020	143,890
その他	452,908	514,711
固定負債合計	2,925,608	2,777,272
負債合計	5,657,460	5,565,959

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,000	785,000
資本剰余金	303,931	303,931
利益剰余金	631,173	754,105
自己株式	△29,418	△29,418
株主資本合計	1,690,686	1,813,618
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	227,800	147,249
評価・換算差額等合計	227,800	147,249
純資産合計	1,918,487	1,960,868
負債純資産合計	7,575,947	7,526,828

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	3,863,159	3,699,594
売上原価	3,053,226	2,939,437
売上総利益	809,933	760,157
販売費及び一般管理費	501,503	526,362
営業利益	308,429	233,794
営業外収益		
受取利息	325	291
受取配当金	8,602	8,684
受取保険金	-	10,166
その他	19,183	13,298
営業外収益合計	28,111	32,441
営業外費用		
支払利息	24,027	20,511
その他	1,449	551
営業外費用合計	25,476	21,062
経常利益	311,064	245,173
特別損失		
固定資産除却損	201	164
特別損失合計	201	164
税引前四半期純利益	310,862	245,009
法人税、住民税及び事業税	71,499	54,755
法人税等調整額	34,269	34,179
法人税等合計	105,769	88,935
四半期純利益	205,093	156,073

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。